



第1129号

令和7年7月15日発行

目次	
定時総会報告	2～3
令和6年度収支決算書	4～5
講座報告	6
中高飯水教育会 創立記念式典案内	7
SNSの紹介	7
掲示板	8
100年館の絵	8



教育研究所研究発表会が6月14日（土）『いなっせ（上伊那教育会館）』会場を皮切りにスタートしました。若手からベテランまで多くの先生方が、第78期研究員の発表をきっかけに日頃の悩みや課題を語り合いました。「子どもの思いや願いを感じていきたい…」そんな声が聞かれた初夏の半日でした。

8・9月の研修ガイド

8月2日（土）

- 教育懇談会 ◎ホテルメトロポリタン長野 ◇「サードプレイスでの学びの場の大切さ」
松山大貴（長野市副市長）☆長野上水内教育会 026-226-2458

8月20日（水）

- 東筑摩塩尻教育会総集会 ◎塩尻市レザンホール 中ホール ◇「私たちを守る法律のはなし」酒田仰（淑徳大学 教育法学者）☆塩筑教育会 0263-32-1187

9月20日（土）

- 少年の塔慰霊祭 ◎伊那公園 少年の塔前 ◇「満蒙開拓青少年義勇軍について」矢澤静二 ☆上伊那教育会 0265-72-3416

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等（講師名敬称略） ☆連絡先

「学び創造研究会」を通じた自主的・自律的研修の広がりを

教師と子どもたちが、「真善美」を求め、対象に繰り返し働きかけ、
その子なりの学びを編み出してほしい

令和7年度第1回定時総会が6月24日（火）に信濃教育会館講堂において、各郡市教育会から選出された代議員46名（全代議員48名）の出席のもと開催された。最初に総会の正副議長が選出され、第1号議案及び第2号議案が上程され、報告・承認・選任された。続いて別室で開催された臨時理事会では、7名の理事及び3名の監事の出席のもと、定款第22条第1項の規定に基づき、代表理事・会長1名、副会長1名、専務理事1名、常務理事1名が選定された。以下定時総会の概略を報告する。

【大日方会長あいさつ】・・・・・・・・・・

○総会は、信濃教育会における最高議決機関である。皆様方には、各郡市における信濃教育会会員の代表者として、議事の審議、協議題の協議等へ積極的に参加していただき、ぜひ忌憚のないご意見をいただければありがたい。この総会における皆様方の闊達な議論は、信濃教育会の活性化にも繋がる。よろしくをお願いしたい。

○信濃教育会教育研究所で、13年間所長をされた上田薫氏については、ご存知の方も多いのではないかとと思う。上田氏は、結構厳しい指導をされることで有名だが、信州教育に対して人一倍思いを寄せられた方でもある。その上田氏は、自身の著書『よみがえれ教師の魅力と迫力』の中の、「信州の教育はよみがえるか」の項で、次のように述べている。いろいろと考えさせられたので、一部紹介する。

「かつて長野県の教師には、私を惹き付ける熱意と力があった。しかも、それは学校だけでなく、信州の人たち自体にも教育県と呼ばれるに足る何物かがあったということである。私の老いた見方かもしれないが、今日の信州の教育界の状況は往時に比して、あまりに寒々している。押しなべて指導の気力が衰えたということであろうか、腹の底から沸き起こる凜とした活力がない。一人一人の子どもと裸になって取り組もうとする気迫がなくなっているのである。世情は昔と違ってきている。事実、親も子もかつてのようではないのである。教師もまた、献身に限度があるという時代になった。私もまた、世間に聞こえた提灯学校のようなやり方には組しない。教師はもっと人間としての自分の幸せを大事にすべきである。が、正に、それゆえにこそ、子どもを一人一人個性的な人間と見ることに徹するべきではないか。プロの教師なら、ただ、テストの点をよくするとか、入試に合格させるとか、目の前のことだけで、教育の効果を測ることは許されない。」－玉川大学出版部－

○長年信州教育にかかわり、信州教育への思い入れも深い上田氏ならではの言葉である。厳しい言葉の裏には、信州教育への愛着の深さも感じる。上田氏が、信州の教師に期待した「教師の魅力と迫力」と

は何か、私なりに考えてみると、「一人一人の子の個性を生かした教育実践」であり、各校における「特色ある教育活動」等であろうと思う。かつては、どの教師も、信州の教師としての矜持のもと、熱意をもって実践に取り組んでいた。しかし、昨今の教育現場には、保護者からの学校・担任への理不尽な要望や、形式的な働き方改革等により、理想とする教育を追い求めにくい状況があり、ひと頃のような燃え滾るものが、影をひそめてしまっている現実もあるように思われる。学校現場に、「事なかれの風潮」や「学習内容をこなすだけの指導」があるとなれば、信州教育の求めてきたものとは対極にあるものと言わざるを得ない。上田氏の懸念も、そうした背景に裏打ちされたものではないかと思う。

○今、各校においては様々な取組がされている。また、学校独自の教育課程の編成もされてきている。ぜひ、教師と子どもたちが、「真善美」を求め、対象に繰り返し働きかけ、その子なりの学びを編み出してほしいと願う。また各校に、一人一人の子どもたちが個性を発揮し、深く学びに専心する姿を期待する。

○上田氏は令和元年10月に亡くなられた。その後、ご遺族の意向により、上田氏の蔵書3,500冊程が信濃教育会に寄贈され、現在「上田薫文庫」として広く活用されている。ぜひ、皆様方にもご活用いただければと思う。詳しくは、教育研究所へ問い合わせ願いたい。

○最後に、今年度の信濃教育会の重点事業は3つ。協議の中で扱うので、詳しい説明は割愛する。

- ・教育研究所を核とした、会員相互の学び合う場の設定
- ・「学び創造研究会」を通じた自主的・自律的研修の広がり
- ・助成事業による会員・学校・研究団体等への支援

【正副議長の選出】・・・・・・・・・・

議長 長野上水内教育会 早川孝一 代議員
副議長 大学教育会 茅野公穂 代議員

【議 事】・・・・・・・・・・

報告事項「令和6年度公益社団法人信濃教育会事業報告」に関する件

第1号議案「令和6年度公益社団法人信濃教育会

決算の承認」に関する件
第2号議案「公益社団法人信濃教育会 理事7名
及び監事3名の選任並びに会長、副会長、専務
理事、常務理事候補者の選任」に関する件

【協 議】・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 令和7年度信濃教育会事業計画について
- (2) 令和7年度信濃教育会予算について
- (3) 雑誌『信濃教育』の購読増について
 - ・教育研究所の発表会が「いなっせ」(伊那市)で行われ、参加者が研究員の発表に重ねて考えることのできる良い機会となった。今後も出向くことやオンラインの活用を進めていただきたい。
 - ・実年会員対象の教師塾Sは、年配者のリフレッシュにつながっている。講師にとって教師塾Aはありがたい。
 - ・4月1日に信濃教育会のPVを視聴して感想を語り合った。信教への理解を図りながら購読の声がけをしている。『信濃教育』は、自分の手元にないとよさがわからない。校長からは是非手元に置きましょうと話し、教務主任が一人一人に丁寧に説明し働きかけることで、購読者が増えている。
 - ・若手と教務主任が『信濃教育』を資料に、授業や学級経営について話している。校長からは『信濃教育』は、教員として感性を磨くのにもよい本だと紹介して、自主的な購読につなげている。
 - ・目次を見せて、内容を伝えての働きかけも有効だった。また、「学級づくり」のテーマに関心をもち5月から購読した方がいた。状況を見ながらタイミングを見ての働きかけも大事だ。

【臨時理事会報告】(新役員の選定結果)・・・・・・・・

代表理事・会長 大日方貞一氏
副会長 西 一夫氏
専務理事 海沼 敦氏 常務理事 原 文章氏
理事…石川政好氏 加藤 浩氏 松田愛絵氏
監事…丸山勝己氏 横林和俊氏 清水治良氏

【報告・連絡】・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 講習・講座の計画
- (2) 学び創造研究会の概要及び令和7年度学び創造研究会に向けて
- (3) 第76回日本連合教育会研究大会茨城大会について
- (4) 第77回日本連合教育会研究大会長野大会について
- (5) 第29回教育研究論文・教育実践賞の募集
- (6) 「教員助成事業」の申込み状況
- (7) 第22回信州“教育の日”松本大会について
- (8) 令和7年度日中友好事業について
- (9) 第139回信濃教育会総集会佐久大会について
- (10) 令和7年度総会の年間計画及び第2回臨時総会
- (11) 「夢みる小学校」の上映について

【情報交換】・・・・・・・・・・・・・・・・

テーマ

◇集い共に学ぶ教育会の会員を増やす取組

◇人材育成のための教育会と校長会の連携

○グループ別協議

○全体協議

- ・ここ数年会員減が続いたので、校長会と共に教育会の組織を見直し、今までの教科中心の委員会から教科を超えた枠組みで学べる委員会とした。また、中堅若手に信教の事業への参加を促し、理解を深め、良さを広げる機会とした。これらのことから、教育会が身近になり、本年度は会員が増えた。
- ・会員増のキーワードは、情報提供。よさを伝える、声をかけて研修に誘う、よさを感じてもらい、この流れを意識した対応を大事にしている。応募型研修助成や教師塾などは、よさが実感できる。
- ・教育会には、人とつながれるよさがある。ミドルリーダーにそのことを語ってもらい、校長が大切に思っていることも伝えている。教育会を通して人材育成を図り、繋いでいきたい。
- ・校長や窓口担当者が、「よさを伝える。誘う、まずは参加を促す」ことに努めている。困っていたり、知りたいなと思ったりしていることに応える研修を実施したい。

【閉会のあいさつ】・・・・・・・・・・・・・・・・

- 先生方、終日お疲れ様でした。雑誌『信濃教育』について、下伊那の大澤代議員から、「校用もあるが、手元にないとタイムリーに学べないから」と購読を勧めたという話があった。実際、旭ヶ丘中学校では個人購読27冊、二人に一冊以上の数である。校内に学び合う気風があるのだろう。
- 雑誌『信濃教育』5月号の読者の広場に、長水教育会の桑原先生が「勇気をくれる『信濃教育』」と題した原稿を寄せてくれた。慌ただしい生活の中で悩んだ時に、『信濃教育』を手にとったこと。知り合いの先生の実践から読み始め、同じ長野県で頑張っている先生が多くいることに、勇気をもらえる機会になったことを紹介している。いろいろな形でお役に立っていることをありがたかった。
- 信濃教育会は本年度139年を迎えたが、雑誌『信濃教育』は140年を迎えている。1944年(昭和19年)11月に信濃教育会は、大日本教育会長野県支部となり、一時名称を下したが、雑誌『信濃教育』は、紙もインクも十分でない中、先人の努力により刊行が続けられたのだ。
- 雑誌『信濃教育』が、教職員の手元で支えとなり、次の代につながるよう、引き続き応援願いたい。
- 教育課程研究協議会のあり方が見直されている。先生方の中に授業を通して学びたいとの思いもある。同好会、教育会にとっては、役割を果たすチャンスととらえたい。

(別掲)

公益目的事業収支決算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位＝円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	13,645	350	△13,295
(2) 受取会費	142,240,896	146,170,240	3,929,344
(3) 事業収益	33,846,805	38,284,500	4,437,695
1 購読収益	13,503,858	13,368,000	△135,858
2 受取印税	19,455,347	24,400,000	4,944,653
3 講座受講料	436,800	366,500	△70,300
4 会館使用料	450,800	150,000	△300,800
(4) 受取補助金等	4,428,673	5,959,380	1,530,707
(5) 受取寄付金	0	0	0
(6) 雑収益	1,866,313	728,900	△1,137,413
経常収益合計 (A)	182,396,332	191,143,370	8,747,038
2 経常費用の部			
【公益目的事業費】	156,498,153	181,843,894	25,345,741
(1) 職能研修事業費	28,844,351	35,754,800	6,910,449
1 研究調査費	3,925,274	5,916,800	1,991,526
1 委員会費	1,461,125	2,500,000	1,038,875
2 旅費交通費	243,400	1,015,000	771,600
3 通信運搬費	220,803	250,000	29,197
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	29,180	128,000	98,820
6 印刷製本費	1,511,212	1,000,000	△511,212
7 諸謝金	355,699	839,000	483,301
8 雑費	103,855	184,800	80,945
2 福祉教育資料研究調査費	283,580	346,000	62,420
1 委員会費	229,580	260,000	30,420
2 旅費交通費	0	24,000	24,000
3 通信運搬費	0	3,000	3,000
4 支払助成金	40,000	40,000	0
5 支払寄付金	0	0	0
6 雑費	14,000	19,000	5,000
3 教育研究所運営費	3,361,091	4,337,000	975,909
1 委員会費	145,130	230,000	84,870
2 旅費交通費	1,423,743	2,119,000	695,257
3 通信運搬費	69,504	70,000	496
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	223,913	266,000	42,087
6 印刷製本費	294,844	500,000	205,156
7 諸謝金	1,124,837	992,000	△132,837
8 支払負担金	39,400	40,000	600
9 雑費	39,720	120,000	80,280
4 講習講演会費	3,778,708	4,940,000	1,161,292
1 旅費交通費	1,090,244	1,800,000	709,756
2 通信運搬費	5,200	53,000	47,800
3 消耗品費	164,358	176,000	11,642
4 印刷製本費	0	70,000	70,000
5 賃借料	167,250	170,000	2,750
6 諸謝金	489,458	725,000	235,542
7 支払助成金	1,380,000	1,280,000	△100,000
8 雑費	482,198	666,000	183,802
5 教育研究大会費	8,453,445	9,830,000	1,376,555
1 旅費交通費	1,889,902	2,390,000	500,098
2 通信運搬費	155,748	205,000	49,252
3 消耗品費	103,262	105,000	1,738
4 印刷製本費	56,496	130,000	73,504
5 賃借料	86,400	300,000	213,600
6 諸謝金	2,366,957	2,300,000	△66,957
7 支払負担金	80,000	80,000	0
8 支払助成金	3,683,120	3,800,000	116,880
9 委託費	0	300,000	300,000
10 雑費	31,560	220,000	188,440
6 視察派遣助成費	1,932,688	1,945,000	12,312
1 委員会費	127,980	200,000	72,020
2 旅費交通費	466,550	500,000	33,450
3 通信運搬費	22,133	33,000	10,867
4 支払負担金	347,500	330,000	△17,500
5 支払助成金	949,325	862,000	△87,325
6 雑費	19,200	20,000	800
7 教育会研修助成費	830,000	1,000,000	170,000
支払助成金	830,000	1,000,000	170,000
8 応募型研修助成費	6,279,565	7,440,000	1,160,435
1 旅費交通費	66,050	235,000	168,950
2 通信運搬費	4,470	50,000	45,530
3 消耗品費	23,840	80,000	56,160
4 印刷製本費	29,920	0	△29,920
5 諸謝金	55,685	56,000	315
6 支払助成金	6,080,000	7,000,000	920,000
7 雑費	19,600	19,000	△600
(2) 教育図書研究調査事業費	20,398,303	26,995,000	6,596,697

- 1 教科用図書研究
- 委員会費
- 1 委員会費
- 2 旅費交通費
- 3 通信運搬費
- 4 消耗什器備品費
- 5 消耗品費
- 6 諸謝金
- 7 雑費
- 2 学術図書研究
- 委員会費
- 1 委員会費
- 2 旅費交通費
- 3 通信運搬費
- 4 消耗什器備品費
- 5 消耗品費
- 6 印刷製本費
- 7 諸謝金
- 8 期首商品棚卸高
- 9 期末商品棚卸高
- 10 雑費
- (3) 生涯学習振興事業費
- 1 教育博物館運営費
- 1 委員会費
- 2 旅費交通費
- 3 通信運搬費
- 4 消耗品費
- 5 印刷製本費
- 6 諸謝金
- 7 支払助成金
- 8 雑費
- 2 生涯学習推進支援事業費
- 1 委員会費
- 2 旅費交通費
- 3 通信運搬費
- 4 消耗什器備品費
- 5 消耗品費
- 6 修繕費
- 7 印刷製本費
- 8 光熱水料諸費
- 9 保険料
- 10 諸謝金
- 11 委託費
- 12 雑費
- (4) 事業共通費
- 1 役員報酬
- 2 給料手当
- 3 賞与引当金繰入額
- 4 退職給付費用
- 5 福利厚生費
- 6 会議費
- 7 委員会費
- 8 旅費交通費
- 9 渉外応接費
- 10 通信運搬費
- 11 減価償却費
- 12 消耗什器備品費
- 13 消耗品費
- 14 修繕費
- 15 印刷製本費
- 16 光熱水料諸費
- 17 賃借料
- 18 保険料
- 19 租税公課
- 20 支払負担金
- 21 雑費
- 【管理費】
- 1 会議費
- 1 総会費
- 2 理事会費
- 3 監事会費
- 4 共通会議費
- 2 会報発行費
- 1 旅費交通費
- 2 通信運搬費
- 3 消耗品費
- 4 印刷製本費
- 5 諸謝金
- 6 雑費
- 3 事務費
- 1 役員報酬
- 2 給料手当
- 3 賞与引当金繰入額
- 4 退職給付費用
- 5 福利厚生費

4,876,237	8,337,000	3,460,763
3,072,760	5,200,000	2,127,240
204,750	750,000	545,250
48,462	99,000	50,538
0	100,000	100,000
988,973	1,330,000	341,027
178,192	314,000	135,808
383,100	544,000	160,900
15,522,066	18,658,000	3,135,934
229,450	260,000	30,550
18,250	100,000	81,750
1,762,024	2,500,000	737,976
0	0	0
49,793	80,000	30,207
11,201,520	12,609,000	1,407,480
1,425,535	1,626,000	200,465
14,576,678	14,400,000	△176,678
△14,988,432	△14,500,000	488,432
1,247,248	1,583,000	335,752
3,600,613	4,420,000	819,387
1,921,377	2,150,000	228,623
380,920	410,000	29,080
329,884	574,000	244,116
85,926	131,000	45,074
124,682	170,000	45,318
610,043	435,000	△175,043
66,822	100,000	33,178
300,100	301,000	900
23,000	29,000	6,000
1,679,236	2,270,000	590,764
0	30,000	30,000
97,980	120,000	22,020
110,767	140,000	29,233
0	150,000	150,000
102,583	200,000	97,417
0	150,000	150,000
0	0	0
472,182	470,000	△2,182
193,108	200,000	6,892
89,096	100,000	10,904
553,190	570,000	16,810
60,330	140,000	79,670
103,654,886	114,674,094	11,019,208
3,567,520	5,346,400	1,778,880
54,865,956	63,777,250	8,911,294
3,873,559	0	△3,873,559
3,008,052	2,660,900	△347,152
9,354,243	10,773,400	1,419,157
414,291	454,300	40,009
137,861	154,584	16,723
346,197	649,000	302,803
211,799	259,600	47,801
449,244	450,100	856
11,533,587	8,866,511	△2,667,076
0	0	0
1,540,751	1,607,500	66,749
240,086	192,900	△47,186
517,978	584,100	66,122
9,288,543	9,261,129	△27,414
729,569	3,894,000	3,164,431
226,961	217,320	△9,641
645,428	2,994,000	2,348,572
2,181,900	2,076,800	△105,100
521,361	454,300	△67,061
38,648,934	43,516,285	4,867,351
704,742	956,800	252,058
546,590	700,000	153,410
16,150	80,000	63,850
2,720	20,000	17,280
139,282	156,800	17,518
2,668,076	3,181,000	512,924
26,720	60,000	33,280
724,090	770,000	45,910
46,508	16,000	△30,508
1,870,758	2,300,000	429,242
0	30,000	30,000
0	5,000	5,000
35,276,116	39,378,485	4,102,369
3,096,597	4,543,280	1,446,683
16,472,681	19,336,350	2,863,669
1,302,260	0	△1,302,260
1,011,283	918,400	△92,883
3,144,823	3,718,400	573,577

6	旅費交通費	216,729	274,000	57,271
7	渉外応接費	190,281	289,600	99,319
8	通信運搬費	211,516	208,900	△2,616
9	減価償却費	2,592,654	1,709,754	△882,900
10	消耗什器備品費	0	0	0
11	消耗品費	652,692	867,500	214,808
12	修繕費	81,970	118,100	36,130
13	印刷製本費	297,560	501,600	204,040
14	光熱水料諸費	3,171,305	3,269,481	98,176
15	賃借料	245,275	1,344,000	1,098,725
16	保険料	57,983	55,520	△2,463
17	租税公課	0	0	0
18	支払負担金	756,858	766,800	9,942
19	委託費	473,000	500,000	27,000
20	雑費	1,300,649	956,800	△343,849
経常費用合計 (B)		195,147,087	225,360,179	30,213,092
当期経常増減額 (A) - (B)		△12,750,755	△34,216,809	△21,466,054
他会計振替額		3,512,669		
当期一般正味財産増減額		△9,238,086		
一般正味財産期首残高		318,467,362		
一般正味財産期末残高		309,229,276		
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取補助金等		5,959,380		
一般正味財産への振替額		△4,428,673		
当期指定正味財産増減額		1,530,707		
指定正味財産期首残高		175,878		
指定正味財産期末残高		1,706,585		
Ⅲ 正味財産期末残高		310,935,861		

出版事業収支決算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位 = 円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	660	11	△649
(2) 事業収益	14,757,551	14,940,000	182,449
1 購読収益	12,289,904	12,240,000	△49,904
2 受取印税	2,467,647	2,700,000	232,353
(3) 雑収益	93,118	1,100	△92,018
経常収益合計 (A)	14,851,329	14,941,111	89,782
2 経常費用の部			
1 役員報酬	324,747	239,760	△84,987
2 給料手当	3,532,050	2,951,080	△580,970
3 賞与引当金繰入額	252,479	0	△252,479
4 退職給付費用	196,065	114,800	△81,265
5 福利厚生費	609,710	464,800	△144,910
6 会議費	27,003	26,216	△787
7 委員会費	267,849	279,707	11,858
8 旅費交通費	22,565	28,000	5,435
9 渉外応接費	13,805	11,200	△2,605
10 通信運搬費	717,271	856,600	139,329
11 減価償却費	5,528,607	6,212,677	684,070
12 消耗什器備品費	0	0	0
13 消耗品費	112,253	150,000	37,747
14 修繕費	16,227	8,400	△7,827
15 印刷製本費	5,750,022	5,761,400	11,378
16 光熱水料諸費	627,822	403,284	△224,538
17 賃借料	80,371	218,000	137,629
18 保険料	6,935	6,640	△295
19 諸謝金	0	0	0
20 租税公課	269,269	1,060,000	790,731
21 支払負担金	142,216	89,600	△52,616
22 委託費	1,658,344	1,500,000	△158,344
23 雑費	315,155	284,600	△30,555
経常費用合計 (B)	20,470,765	20,666,764	195,999
当期経常増減額 (A) - (B)	△5,619,436	△5,725,653	△106,217
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	△5,619,436		
法人税・住民税及び事業税	37,837		
当期一般正味財産増減額	△5,657,273		
一般正味財産期首残高	35,266,618		
一般正味財産期末残高	29,609,345		
Ⅱ 正味財産期末残高	29,609,345		

不動産貸与事業収支決算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位 = 円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	1,969	1,312	△657

(2) 事業収益	14,542,600	14,158,600	△384,000
1 貸家賃賃料	10,198,600	9,814,600	△384,000
2 貸地賃賃料	4,344,000	4,344,000	0
(3) 受取負担金	2,220,168	3,000,000	779,832
(4) 雑収益	176,898	60,000	△116,898
経常収益合計 (A)	16,941,635	17,219,912	278,277
2 経常費用の部			
1 役員報酬	243,558	449,760	206,202
2 給料手当	2,932,147	3,238,950	306,803
3 賞与引当金繰入額	179,393	0	△179,393
4 退職給付費用	139,309	127,100	△12,209
5 福利厚生費	433,215	514,600	81,385
6 会議費	19,187	21,700	2,513
7 旅費交通費	16,033	31,000	14,967
8 渉外応接費	9,809	12,400	2,591
9 通信運搬費	21,800	22,400	600
10 減価償却費	5,016,477	4,737,640	△278,837
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	187,991	75,000	△112,991
13 修繕費	100,751	159,600	58,849
14 印刷製本費	23,989	27,900	3,911
15 光熱水料諸費	2,297,288	3,510,896	1,213,608
16 賃借料	33,788	186,000	152,212
17 保険料	157,359	152,560	△4,799
18 租税公課	1,411,803	2,146,000	734,197
19 支払負担金	101,049	99,200	△1,849
20 委託費	0	0	0
21 雑費	694,510	321,700	△372,810
経常費用合計 (B)	14,019,456	15,834,406	1,814,950
当期経常増減額 (A) - (B)	2,922,179	1,385,506	△1,536,673
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	2,922,179		
法人税・住民税及び事業税	43,163		
当期一般正味財産増減額	2,879,016		
一般正味財産期首残高	182,458,570		
一般正味財産期末残高	185,337,586		
Ⅱ 正味財産期末残高	185,337,586		

災害見舞金事業収支決算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位 = 円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	42,387,772	42,000,027	△387,745
(2) 受取会費	2,000,000	3,000,000	1,000,000
経常収益合計 (A)	44,387,772	45,000,027	612,255
2 経常費用の部			
1 役員報酬	2,346,197	1,408,800	△937,397
2 給料手当	13,260,157	5,891,130	△7,369,027
3 賞与引当金繰入額	1,036,493	0	△1,036,493
4 退職給付費用	804,900	278,800	△526,100
5 福利厚生費	2,503,022	1,128,800	△1,374,222
6 会議費	110,857	77,600	△33,257
7 旅費交通費	96,256	68,000	△28,256
8 渉外応接費	56,674	27,200	△29,474
9 通信運搬費	132,206	69,000	△63,206
10 減価償却費	989,185	290,168	△699,017
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	424,574	175,000	△249,574
13 修繕費	66,159	21,000	△45,159
14 印刷製本費	177,211	111,200	△66,011
15 光熱水料諸費	2,559,581	1,008,210	△1,551,371
16 賃借料	195,219	408,000	212,781
17 保険料	10,402	9,960	△442
18 支払負担金	583,836	217,600	△366,236
19 支払見舞金	6,173,230	15,000,000	8,826,770
1 死亡・障害見舞金	1,500,000	9,000,000	7,500,000
2 入院・通院見舞金	2,284,000	3,000,000	716,000
3 自然災害見舞金	2,389,230	3,000,000	610,770
20 委託費	0	0	0
21 雑費	734,017	697,600	△36,417
経常費用合計 (B)	32,260,176	26,888,068	△5,372,108
当期経常増減額 (A) - (B)	12,127,596	18,111,959	5,984,363
当期経常外収益	0		
他会計振替額	△3,512,669		
当期一般正味財産増減額	8,614,927		
一般正味財産期首残高	1,296,810,691		
一般正味財産期末残高	1,305,425,618		
Ⅱ 正味財産期末残高	1,305,425,618		

合唱

児童生徒が本気で表現したくなる合唱指導 指導者の後ろ姿から学びました

5月10日(土) ホクト文化会館

受講者数 54名

【講師 藤原先生からのメッセージ】

本当に子どもさんたちの可能性、先生方の学びたいという旺盛な意欲をたくさん感じて、いっしょに音楽をする仲間として、すごく感動的な時間を過ごさせてもらいました。

合唱とか歌とかは心の振動だと思うので、だれかとだれかがいっしょに空間で、生き合うということがすばらしいし、見ている人もまた感動すると思うので、先生方も保護者も卒業生もそういう歌の時間を一杯つくってくれたなと思います。

- ・わたしたちの日々の教育実践のスタート地点にある「やってみたい」「これならできそうだ」「やってみよう」というふう子どもたちが、本気になるようにすばらしい言葉がけ、そういう場面をつくるような手だてを、本日たくさん藤原先生からいただきました。
- ・藤原先生のエネルギーなご指導を、生でみるのができて、本当に幸せだったなと思っています。最後のところで、「ビリーブ」は、普段なら流してしまうところを、指揮者は何をすべきかとか、和音といっしょに考える、あたりまえのような気がするけど、何をすべきかということをとたくさん学ばせていただきました。



オーケストラ

信教オーケストラ 音の探求と協調のハーモニー！

5月24日(土)・6月28日(土) 信濃教育会生涯学習センター

受講者数 64名

指揮者の木村美音子先生のご指導の下、心地よい緊張感と熱気に包まれた中、美しいハーモニーを仲間と紡ぎ合う楽しい時間を過ごしました。

- ・毎年この講座を楽しみに受講しています。幅広い作曲家の楽曲を演奏でき、木村先生のご指導で、楽曲への理解と表現力が高まります。
- ・信教総集会での演奏はとても大きな経験になります。そして、毎年この機会でお会いできるみなさんとの交流も楽しみです。音楽を通じて語り合うひとときが最高です。今後も続けていきたいです。
- ・木村先生の的確なご指導がとても勉強になりました。久しぶりに合奏を楽しむことができました。ありがとうございました。改めて、楽器を持ち寄って音楽するのは楽しいと感じました。音楽経験が様々ではありますが、より良い演奏を目指しつつ、楽しく本番を迎えられればと思います。



中高飯水教育会 「創立記念式典」のご案内

入場
無料

令和7年度より、飯水教育会と中野・下高井教育会が合併し「一般社団法人中高飯水教育会」として発足いたしました。これを記念して創立記念式典を以下の様に行います。地元出身の方の記念講演演奏会も行われます。飯水中高地区に関わりのあった先生方をはじめ多くの方にも式典に参加いただけるとありがたいと思います。

8月1日（金） 中野市 市民会館 ソソラホール

記念講演

児童生徒&先生との学校社会の在り方を考える
～ドイツの公立学校での子育てから見る考察～

藤井 貴宏 さん （中野市出身・ドイツ在住：オーボエ奏者）



記念演奏会

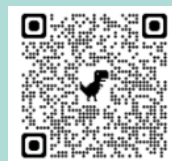
藤井 貴宏(オーボエ)、原田 愛(ピアノ)、高山 紗絵子(ヴァイオリン)、上杉 清仁(カウターテナー)
歌劇「魔笛より」・カンタータ第170番(バッハ)・朧月夜&故郷メドレー・中山晋平メドレー 他多数

受付	13:30～
式典	14:00～14:30
記念講演	14:40～
記念演奏会	15:25～
閉会	16:20

- ・申し込みは右の二次元コードからお願いします。
- ・駐車場は、南宮中学校・中野市防災広場です。
- 係員の指示に従ってください。

【お問合せ】

中高飯水教育会事務局 0269-22-2817



SNSの紹介

信濃教育会ではSNSにて情報発信を行っています！

Facebook と Instagram の二つを運営しており、『信濃教育会』で検索するとヒットします。

役に立つ教育情報や、講習講座の案内等の最新情報をお届けします！



現在フォロワー：Instagram (305 人)
Facebook (736 人)
目指せ各フォロワー1,000 人！



信濃教育会会長



信濃教育会 HP の会員のページに【プチっと研修】が登場！

HP 上で『ぷちっと』学べるコンテンツを随時更新していきます。

これから会員のページは要チェック！

【プチっと研修】はこちら！

ぷち
と
研修



掲 示 板

学び創造研究会を 開催します。

詳細は6月中旬に各校配布の
ポスターをご覧ください。

企画展「学校生活の思い出」

7月11日(金)～8月8日(金)

一生懸命練習した一輪車、

楽しかった給食の時間、

みんなで出掛けた遠足…



学校生活の様子を描いた作品を展示します。
ぜひお出かけください。

信濃教育

予 告



テーマ
持続可能な社会の創り手の育成

「自分の住みたい世界」をテーマに
楽しみながら絵を描きました。宇宙空
間や海の中で過ごしたり、昆虫の背
の上で空に浮かんでいたり、花に囲ま
れた家に住んだり、たくさんの方が
教室に広がりました。ユキオさんは力
二やイルカ、クマノミやヤゴなど、た
くさんの生き物を丁寧に描き上げてい
きました。さらに生き物の身体にぶら
下がったり、背中に座って水中を自由
に移動したり、一緒に遊ぶ人を描き加

えていきました。濃淡をつけるため
に、絵の具に思い切って水を加えて
いったことで、水の雰囲気により強調
された作品になりました。絵が好き
で、休み時間の教室ではイラストなど
を描く子どもたちがたくさんいます。
ユキオさんも様々な絵を描き上げ、み
んなから認められています。そんな友
だちとのつながりがあふれた作品に
なったと思います。

指導者
片田 保幸(箕輪中部小)

100年館の絵

令和6年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「海でくらす生活」

山本ユキオ(神川小3年)

信濃教育博物館所蔵

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人
信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026(232)2470
URL <https://shinkyo.or.jp> ✉ shinkyo@shinkyo.or.jp
編集兼発行人/大日方貞一

